日本経

[第三種郵便物認可]

主要相場

日経商品指数17種

27日 160.128
前日比 −0.089
(1970年平均=100)

デイリー

石油

▽原油(現物、FOB、1バレル、ドル、6月渡し)
ドバイ 0117.90−118.00
▽製品(東京、現物、業者間転売)
ガソリン(ローリー物)
は荷積所渡し、他はパージ物製油所渡し、軽油は軽油引取税抜き、1キロ当たり円)
ガソリン(パージ物)
123.000−123.500
同(ローリー物)
123.500−124.000
灯油 72.500−73.000
軽油 72.000−72.500
A重油(硫黄分1%)
72.000−72.500
高硫黄C重油(硫黄分3%)
58.500−59.000
低硫黄C重油(同0.5%)
65.500−66.000
ナフサ(東京オープンスペック、6月後半入電分、1トン当たり、先程)
D1,085−1,087

貴金属地金

(東京、大口需要家渡し、持ち込み、現金、円、午後4時現在)
金(99.99%以上、1グラム)
D3,967−3,977
プラチナ(99.99%以上、1グラム)
▲4,819−4,829
パラジウム(99.99%以上、1グラム)
D2,040−2,065
銀(99.95%以上、1キロ)
D122,700−123,300
▽ロコ東京金(円建て、終値、1グラム、円)
D3,954
▽小売価格(地金商系、消費税込み、円)買値 売値
金 4,103 4,186
プラチナ 4,898 5,086
▽山元建値(円)
金(1グラム) D3,977
銀(1キロ) ▮121,850

非鉄地金

(東京、商社出し値、置き場渡し、現物、1トン、現金、千円)
銅 ▮811−813
亜鉛 217−219
鉛 263−265
すず(99.9%手形) D2,868−2,878
ニッケル(溶解用)
D2,320−2,340
アルミニウム(99.7%、輸入スポット値、120日手形) 265−265

半導体スポット

(東京メモリー、小口渡し、現金、1個、円)
▽DRAM
512メガビット(DDR2型、×16)
1メガビット(同×16)
▮1.29−1.39
1メガビット(DDR3型、×16)
▮1−1.4

鋼材

(問屋仲間、置き場積み込み、異形棒鋼はスポット物を除き大口需要家渡し、トン、税抜、120日手形、千円)
▽条鋼 東京 大阪
異形棒10ミリ(SD295A)
68−70 72−73
異形棒19ミリ(SD295A)
65−67 68−69
平鋼6×50ミリ
96−98 86−87
丸棒6×50ミリ
84−85 83−84
みぞ形5×50×100ミリ
86−87 84−85
H形5.5×8×200×100ミリ
85−85 82−83
▽棒鋼スポット物 (異形棒19ミリ、置き場渡し)
70−72 73−74
▽鋼板
冷延1.6ミリ(914×1,829ミリ)
86−88 88−91
熱延1.6ミリ(1,219×2,458ミリ)
74−76 76−77
熱延3.2ミリ(1,219×2,458ミリ)
70−72 72−73
熱延12ミリ(1,524×3,048ミリ)
73−75 75−76
▽電気亜鉛めっき鋼板
冷延1.0ミリ(914×1,829ミリ)
105−105 105−106
熱延1.6ミリ(914×1,829ミリ)
93−95 97−98

天然ゴム

(大口需要家向け、営業倉庫渡し、1キロ、90日手形、円)
東京 大阪
RSS1号 ― ―
RSS3号 ▮440 ―
TSR20号 ▯405 ▯405

繊維

▽綿糸(大阪相間、上錦品、木管別、指定地渡し、45日手形、1ロット、千円)
現物5〜6月 一月
20単 99−101 ― ―
30単 105−107 ― ―
40単 106−108 ― ―
▽スフ糸(大阪相間、当月物、指定地渡し、45日先、45日手形、円)
ブライト ▯ダル
30単 281 266
▽毛糸(名古屋毛伸、毛毛織り糸、1キロ、90日手形、日歩付き、円)
48双 1,720
60双 1,920

砂糖

(元値、市中標準品、置き場渡し、1キロ、現金、円)
東京 大阪
上白 189−190 190
白ざら 212−214 213−214
中ざら 212−213 213
グラニュー(粒) ―
192−193 193
グラニュー(本グラ) ―
194−195 195
ビートグラ ―
189−190 190
◇各古屋
上白 193
白ざら 217−218
本グラニュー 198
ビートグラ 191
◇関門
上白 193

小豆・大豆

(問屋仲間、大豆は需要家渡し、北海道産2号、重量渡し、輸入物は濃淡貨車乗り、円)
◇東京
小豆(中間物、30キロ)
13.5
中国産小豆(天津、未選、60キロ)
11.5
米国産大豆(インディアナ州イオ・ミシガン選別、遺伝子非組み換え分別品、1トン)
84
米国産大豆(同、同、不分別品、1トン) 54
◇大阪
小豆(中間物、30キロ)
13.5
中国産小豆(天津、未選、60キロ)
12
◇帯広(貨車乗り、30キロ)
小豆(みがき) 12.8
大手1 10.6
大正金時 12.2

ウイークリー

(毎週1回本欄日掲載)

合繊織物

(大阪、需要家渡し、現物、W J L物、60日手形、円)
ポリエステルポンジ (44デニール、91.44センチ) N40−42
ポリエステルタフタ (48センチ幅、1ヤード) 40−42

古紙

(回収問屋間値、1キロ、現金、円、先物値段、引値)
茶菓白鉄屑 3.55−3.65 3.55−3.65
ラード 2.68 2.68
▽工業品(大口需要家渡し、1キロ、20日手形、円、左側東京、右側関西)
大豆白鉄屑(1〜3月) 195−200 195−200
茶種白鉄屑(1〜3月) 193−198 193−198
米ぬか白鉄屑(4月) 189−190 189−190
精製ヤシ油(4月) 193−198 193−198
亜麻仁油(1〜3月) 290−300 290−300

アルミスクラップ

地金高でも売値は低迷

産業界では減産が広がり発生量は細っていまが…

▼アルミスクラップ問屋
サッシや製缶工場などで発生するスクラップを回収して販売する。売り先の7〜8割は二次合金メーカーで、スクラップにシリコンなどを混ぜてつくる二次合金の8割ほどは自動車関連向けだ。問屋は全国に2千社以上あるとみられ小規模経営が多い。

車減産で販売大幅減

生産回復まで我慢の問屋

東日本大震災の発生後、アルミニウムスクラップ問屋の苦悩が深まっている。スクラップ製品を大量に使う自動車の減産が長引き、販売数量が大幅に減少した。売値の低迷も動き残り競争にな る可能性もある。

アルミスクラップ市場に異変が起きている。通常、問屋の売値はアルミ地金の国際価格に連動するのが基本だが、震災後はロンドン金属取引所(LME)の地金相場が1割近く上昇したのに、国内の売値は上がっていない。二次合金メーカー向けの「ビス付きサッシ」は1キロ130〜140円で横ばいが続く。

一部には「震災前に比べ5円下がり、理論値より15円ぐらい安い」(橋本アルミ=大阪市=の橋本健一郎取締役)という例もある。

自動車の減産で問題の取扱量は3割程度減っているようで、採算の悪化は追い打ちとなる。

「自動車メーカーへの依存度が高すぎるのがこの業界の問題点」。関東のアルミスクラップ問屋でつくる岡村商事=東京=の岡村晋吾社長はため息をつく。同じ非鉄スクラップでも、銅は様々な売り先があり、震災の影響は限られている。

アルミスクラップの需要は2008年のリーマン・ショックに匹敵する激減した。当時は輸出に活路を見いだす問屋もあったが今回は厳しい。

「海外の自動車工場が止まっている例もある。買い手は日本の事情を知っており、こちらの希望額で売るのは難しい」(秋元産業=横浜市=の秋元康男社長)。

ただ、今が最悪期で、これを乗り切れば環境が好転するとの指摘もある。産業界全体に減産が広がり、クラップの発生量が細っている。自動車メーカーが生産を再開すれば、需給が一気に締まり、相場が急騰するとの読みだ。今後、残存者利益を目指して業界内の再編が進むとみる見方もある。

軽金属同友会長を務める荷時の放射能検査が厳しくなったため、震災後は輸出も、銅は様々な売り先があり、震災の影響は限られている。

東京電力の福島第1原子力発電所の水素爆発以来、風評の放射能検査が厳しくなったため、震災後は輸出を自粛する傾向も目立つ。

(中国行きスクラップを検査する日中商品検査=東京・中央)という。

ただ、今が最悪期で、これを乗り切れば環境が好転するとの指摘もある。産業界全体に減産が広がり、クラップの発生量が細っている。自動車メーカーが生産を再開すれば、需給が一気に締まり、相場が急騰するとの読みだ。今後、残存者利益を目指して業界内の再編が進むとみる見方もある。

次増産に入った。「彼らのメーカーも在庫の在出荷した。このため「高値の輸入合板が」する ところに供給過多ぎ」、需給が緩むのでと懸念する声もある。

供給が追いつかないで、価格も上昇傾向。マレーシアでは保護のため伐採規制化しているうえ、長期的影響で原木の生産悪くく、丸太供給量は減っている。合板向けは算の良いインドや中国以外の国内メーカーの原木輸出が優先さ場合もある。

3月上旬以降、彼

ち上がりに時間がかかり、鋼材受注が低調とな り、鋼材は7月8日4500円、00円前後と、前後、山形鋼は8万35円、前週比2円(約2%)下落。

鋼は1トン18万円前後と、いずれも、旧需要で、日本からの注文は、日本向けの4〜5月積み込み分は、運賃込みで、2〜3月積みに比べ35ドル(6%)どが注文量を増やした。

要が動むとみた商社な

鋼材の丸太は需要を引き締めている。

原料の丸太は需要

鋼材の丸太は需要